

仙台陣屋かわら版

第五九号

(平成三年一月号)

HP: <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ka/jinya/> Mail: jinya@town.shiraoi.hokkaido.jp
〒059-0921 白老町陣屋町六八一 TEL&FAX 0144-85-2666 仙台藩白老元陣屋資料館発行

「祝開館二五周年の昨年を振り返って」

町制施行三〇周年の目玉事業として、昭和五九年一〇月に開館した当館は、昨年二五周年を迎えました。この間、二〇万人を超える方々にご来館いただき、ありがとうございます。これも一重に、町民の皆さまをはじめ、常日頃よりご協力を賜っております関係団体の方々の、暖かいご支援とご助力の賜物と、心から感謝申し上げます。

二五周年の昨年を振り返りますと、初春とともに前年度に引続いての「麗しの雛人形展」、三月からは白老美術協会ほかの方々にご協力をいただきながら「白老郷土美術展」。続いて四月には恒例の「武者人形展」と刀剣愛好家全面協力による「日本刀の美・刀装の技」展。夏休み期間中は、寄贈された陣屋図を中心に全国から二三枚の絵図を集めての特展「絵図から辿る仙台藩白老元陣屋の秘密」、九月から十一月までは「写真で見る昭和の白老展」と、計六回の展示会を開催してまいりました。一方、一団体の協力をもって八月一〇日に行われた「陣屋の日」には、四〇〇人もの方々に陣屋跡をご活用いただき、さらに、新たな試みとして六月から一一ま

仙台藩白老元陣屋資料館長 武 永 真

で全八回の連続講座を行った「しらおい歴史講座」ふるさと白老の未来を探る」では、講師の中村齋氏より白老の歴史を通史的にご講義いただき、二五人の町民が子供たちに伝えたい故郷の歴史と文化を再確認・再認識しました。

また、関係団体との協働事業としては、森竹竹市研究会（伊東稔会長）から「森竹竹市遺稿集々評論編」が二月に発行され、白老出身でアイヌ三大歌人の一人に称せられる竹市の煮えたぎる熱い思いを全国に発信することができました。他方、三年目となる白老地域文化大学（中村齋学長）とも連携し、毎月の講座の中で、白老の様々なことを、参加者とともに大いに学んでいます。

新たな年も、これまで以上に「活発で開かれたいつも動いている資料館」を目指し、日々活動していきたいと存じますので、皆さまのご理解とご指導・ご協力を、よろしくお願ひ申し上げます。



仙台藩白老元陣屋資料館

白老地域文化大学の活動から

第三二回白老



〈講演する辻さん(奥)〉

地域文化大学講座「中心市街地の活性化」は、去る二月一日、山菜料理の店「グランマ」と、アンテナショップ「しらおい発掘堂」で行われ、講師の辻正則さん（編集工房KAZ代表）から、両店舗が開店した経緯や現在までの取り組み、今後の展望などについてお話を聴きました。

他に誇れる特産物が豊富にある反面、道の駅のような施設がない白老にあって、多様な産品を一堂に集め販売できるアンテナショップは何より必要と、一〇月に「しらおい発掘堂」がオープン。まだ開店したばかりで試行錯誤の毎日とのことですが、お話から、地元の産品を観光客はもちろん地元住民にもPRし、もって町の活性化をという熱意がひしひしと感じられました。また、高齢者の「コミュニティビジネスを先取りする『グランマ』」では、同店一押しのごんざいが振舞われ、出席者にも大変好評でした。次回の講座は、「町おこし・私のアイディア」と題して、町をよりの活性化させるにはどうすれば良いかの意見を交し合う座談会形式で行います。一月九日（土）一〇時から一二時まで。参加費は二〇〇円。白老を元気にするための目からウロコな秘策・秘訣を、やわらかな雰囲気の中で共に考えましょう。

「写真で見る昭和の白老」が大盛況の閉幕 資料館、虎杖浜公民館、白老コミセンで開催

九月から足かけ二ヶ月にわたり開催してきた北海道文化財保護月間協賛事業 巡回展「写真で見る昭和の白老」あの頃の虎杖浜編」が一月二〇日、閉幕しました。

町内在住の写真家山崎寿昭さん撮影の昭和三〇年から四〇年代の虎杖浜の大写真を、資料館、虎杖浜公民館、白老コミセンと、場所を移しながら展示。延べ一〇〇三名もの来場者に、懐かしい虎杖浜の姿をご覧いただきました。会場にお越しいただいた方々と、山崎さんはじめご協力を賜った皆さま、心から感謝を申し上げます。

虎杖小学校の四年生が資料館を見学

去る一月三日、虎杖小学校四年生の児童と先生ら二一名が、社会科の授業で取り組んでいる「昔のくらしとまちづくり」の学習の一環として、資料館を見学しました。

子供たちは皆、資料館へ来るのは今回が初めてということで、陣屋が白老に置かれた理由やその役割などを、まずは簡単に説明。さらに、重さや質感を知ってもらうため、火縄銃などを実際に持つてもらうと、「重いっ！」「かっこいい」などと喜んで笑顔に。また、虎杖浜神社の境内にある野口屋又蔵の功績碑のいわれについて話すと、「へえ〜」「知らなかった」とみんな目を輝かせて聞いてくれました。

今回の見学が、地域の歴史に関心を持つ、一つのみきっかけとなれば幸いです。みんな、また来てね！

「抹茶でおもてなし」

毎月第二土曜日に好評開催中！
また、町内在住の後藤サキ子さんより茶道具の寄贈がありました

平成一九年一月に第二回「抹茶でおもてなし」が行われてから早二年。第一回からずっと変わらずお茶を点てていただいているのは、町内在住の松岡裕子さんと齋藤昌子さん。毎月第二土曜日に、来館者に無料で、抹茶を振舞っていただいています。

来館者からは「気軽に抹茶に親しめる」と大人気。これからの寒い時期にはなおのこと、温かい抹茶で一息ついていただければと思います。

毎月一回、第二土曜日に行われるものと、ごどもの日やお雛さま会などのイベントで行われるものとを併せれば、現在までに二九回の「おもてなし」で、一月九日には記念すべき三〇回目を迎えます。齋藤さんと松岡さんには、深く感謝を申し上げます。今後とも、よろしくお願ひいたします。

またこの度、町内の後藤サキ子さんより、全二九点の資料、茶道具一式をご寄贈いただきました。これらは「おもてなし」などで活用させていただきます。ご好意、誠にありがとうございます。



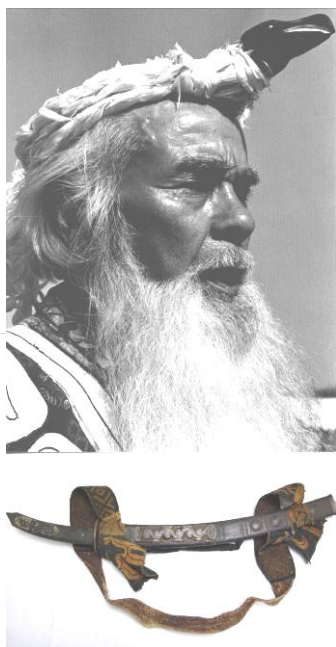
〈後藤さんより寄贈を受けた茶道具の一部〉

森竹竹市新着資料から新春企画展を計画！

平成二二年末、陣屋資料館に新たな資料が増えました。森竹竹市のご遺族より、アイヌ民族の民具を一〇〇点ばかり寄贈いただいたのです。これらの資料を主役に、一月三〇日より新春企画展を開催いたします。

数が多いため、資料の総てを並べるのは難しいかもしれませんが、なるべくたくさんさんの資料を、民具に関する豆知識を交えながら、お披露目したいと考えています。これを機に、アイヌ民族が用いてきた民具について学んでいかれてはいかがでしょうか。

〈上〉正装した森竹竹市 下／寄贈されたエムシ（刀）



資料館の年末年始休館について

資料館は二月三〇日（水）から一月五日（火）までの一週間、年末年始の休館となります。皆さん良いお正月をお過ごし下さい。

「仙台陣屋かわら版 第五九号（平成二二年一月号）」

発行日：平成二二年二月一八日
発行所：仙台藩白老元陣屋資料館 担当者：平野・坂本